

飯山市国土強靱化地域計画（案）における市民パブリックコメントの結果及び意見に対する市の考え方・対応

NO	計画案の該当箇所		提出いただいた意見等の趣旨	市の考え方・対応
	頁	項目		
1		基本的事項に関する指摘	<p>「国土強靱化地域計画策定ガイドライン」で指示され、また長野県国土強靱化計画」に記載されている次の事項を必ず実施願います。</p> <p>① 市役所内に関連部課の連絡会議を設け、各部署は責任を持って計画の作成に参加する。</p> <p>② 専門家の意見を聞き取り入れる。</p> <p>③ 飯山市防災会議で審議頂く。</p>	<p>① 計画の策定に際しては、副市長及び各部課長を対象に計画策定に係る説明会を実施し全部局体制で本計画を作成することを確認しました。その上で、各部局の検討及び部局を横断して協議を行う場として部課長会議に諮り策定作業を進めました。</p> <p>今後の見直しにおいても部課長会議が連絡会議の位置づけとして機能を果たすこととなります。</p> <p>② 本計画の見直しの際には、国の国土強靱化基本計画や長野県強靱化計画との整合を図りつつ、必要により専門家の意見を聴取します。</p> <p>③ ②と同様に必要により飯山市防災会議で意見を聴取します。</p>
2		基本的事項に関する指摘	<p>7つの基本目標のリスクシナリオ毎に担当部署を決め、具体的推進内容（事業・取組）毎に現状及び5年後の目標値を数値化(KPI)すること。それをPDCAのサイクルを実行し成果を得ること。</p>	<p>リスクシナリオに対しては、複数の部局に係ることから、本市ではリスクシナリオに基づく施策毎に担当部局を設定しています。</p> <p>また、設定した施策毎に別表「個別事業」（毎年見直しを行う）を作成し、対象となる事業には目標指標を掲げます。</p>
3	5	1 自然条件 (1) 市域	<p>5頁の上から5行目の・・・km<sup>2</sup>はkm<sup>2</sup>に訂正下さい。</p>	<p>修正します。</p> <p>(Km2 → km<sup>2</sup>)</p>
4	7	2 災害の要因 (2) 地震	<p>上から6行～11行まで削除し、善光寺地震の詳細は9頁の過去の災害(2)地震の所に記載すべきと思います。長野県のように。</p>	<p>善光寺地震は本市にとっても特筆すべき大規模災害であったことから、7頁に特出ししています。</p>

飯山市国土強靱化地域計画（案）における市民パブリックコメントの結果及び意見に対する市の考え方・対応

5	8	3 過去の災害 (1) 風水害	8 頁の写真の説明文を記入下さい。	説明文を加えます。 (説明文「浸水被害状況」)
6	9	3 過去の災害 (1) 風水害	9 頁の写真の説明文「樽川の破堤状況」の位置を中央の位置に移動下さい。	体裁を整えます。
7	10	3 過去の災害 (2) 地震 ③長野県の活断層	10 頁の(長野県の活断層の分布)図の信濃川断層帯の位置を明確にするべき。飯山市はその北端に入っているはずである。また十日町断層帯の位置も明示するべき。飯山市耐震改修促進計画の 4 頁を参考に。	ご意見を参考に、より詳細な図(長野県「長野県地震被害想定調査報告書」(H27年3月) p.20に掲載されている「長野県の活断層の分布と被害地震の分布」と差替えます。
8	10	3 過去の災害 (2) 地震 ③長野県の活断層	「飯山市における主な地震被害想定」と耐震化率の目標化 地震に対する被害を少なくすることは最重要事項である。しかし飯山市国土強靱化地域計画には記載なく、長野県及び中野市の国土強靱化地域計画に記載されている第3次長野県地震対策基礎調査報告書(平成27年3月公表)の「当該市の主な地震被害想定」と耐震化目標値の設定を飯山市も追加して下さい。私が調べた結果を下表に示します。 飯山市における主な地震被害想定 (第3次長野県地震被害想定被害調査報告書)	当計画において、住宅の耐震化においてはリスクシナリオ1-1「住宅及び公共施設等の倒壊や、住宅密集地の火災による死者の発生」の対応と推進方針に「建築物(住宅、公共施設等)の耐震化と促進」を位置づけております。当計画を指針として、飯山市耐震改修促進計画において具体的な取組みを掲げます。 また、耐震化率の目標においては、別表「個別事業」において、住宅及び多数の者が利用する一定規模以上の建築物のそれぞれの数値を掲げる予定です。 なお、当市の地震被害想定においては、長野県第3次地震被害想定被害調査報告書に基づき、飯山市地域防災計画で示しております。

飯山市国土強靱化地域計画（案）における市民パブリックコメントの結果及び意見に対する市の考え方・対応

地震名	マグニ チュウ ド	最大震 度	発生確率 (%) 30 年以内	各断層 の長さ (km)	位置	
長野盆地西縁断層帯	7.8	7	ほぼ 0	58	飯山市～長野市	
糸魚川～静岡断層帯	全体	8.5	5強	14～30	150	小谷村～富士見町
	北側	8.0	5弱	0.009-16	84	小谷村～松本市
	南側	7.9	4	0～0.1	66	安曇野市～富士見町
伊那谷断層帯	8.0	4	ほぼ 0	79	辰野町～平谷村	
阿寺断層帯（南部）	87.8	4	ほぼ 0	79	中津川市～下呂市	
木曾山脈西縁断層帯	7.5	4	ほぼ 0	40	木曾町～南木曾町	
境・神谷断層帯	7.6	4	0.02～13	47	松本市～伊那市	
想定東海地震	8.0	5強	88			
南海トラフ地震	9.0	5弱	70			

注：十日町西断層帯のデータ出典は「地震調査研究推進本部事務局」H22, 3, 18 である。

尚、耐震化率の目標値の数値化は特定建築物及び住宅の分けて下さい。

9 12 3 過去の災害  
(4) 土砂災害

「土砂災害の近年、本市の主な土砂災害」に「令和 2 年 7 月 15 日に発生した土砂災害」を追加するべき。他の 2 例より広域で被害は甚大であった。

ご意見を参考に下記を追加します。  
「令和 2 年 7 月豪雨等によるがけ崩れ発生。地すべり防止区域（吉区） 崩落箇所 21 か所 ほか」の記述を追加しました。